

第6学年「算数」学習指導案

授業者 河合 紗由利

2月22日(木) 2階A室 10:00~10:40 話し合い 10:55~11:45

1 単元名 資料の整理

2 単元について

第6学年では、データのばらつきに注目し、柱状グラフを用いることや、データの代表値としてどのような値が適切であるかといったことを学習する。グラフなどの学習では、目的に合わせて表現を工夫することや提示されたグラフをどのように読み取るかということも重要である。

そこで、学級を「発表者」と「聞き手」という2つの役割に分け、1つのデータを、それぞれの立場で活用する授業を単元の終わりに設定することとした。

3人のソフトボール投げのデータをもとに、1人を代表選手として選ぶという場面を想定する。子どもたちには、データをもとに自分が選んだ選手をアピールするためのポスターを作成させる。

本時では、作成したポスターを使って「選手説明会」を開催する。「選手説明会」では、「発表者」の子どもたちは前時までに作ったポスターをもとに、選手の特長を発表する。「聞き手」の子どもたちは、発表をもとに3人の選手を比較し、どの選手を代表にすべきか考える。なお、本時で「聞き手」になる子どもたちは、前時までは別のデータで同様の活動を進めておく。

子どもたちには、ポスター作製の段階で、もとのデータを知らずに発表を聞く人がいることを意識させる。「聞き手」を意識しながら準備を進めることで、自分たちの作成したポスターを客観的に振り返り、表現を改善することにつながることを考える。

さらに、「聞き手」の子どもたちは、「発表者」から伝えられた情報だけをもとに、それぞれの選手の特長を捉え判断することになる。言い換えれば、1つのデータから作られた複数の表現を比較し、代表選手を検討するということである。そのため「発表者」の発表をそのまま鵜呑みにするのではなく、もとのデータや「発表者」の表図を想像しながら発表を聞く必要が出てくる。

単元を通して、「発表者」と「聞き手」という2つの立場を体験させることで、同じデータであっても立場によって活用の仕方がかわることを経験させ、データに対する多様な見方を身につけさせることにつなげたい。

3 学習指導計画（7時間目／全8時間）

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| 第1次 資料の平均や度数分布を表す表やグラフについて知る。 | …2時間 |
| 第2次 データの特長を捉え、表やグラフに表す。(ポスターを作製する。) | …3時間 |
| 第3次 表やグラフを活用して発表する。(「選手説明会」を行う。) | …本時2/3時間 |

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・式や表、グラフをもとに、自分の考えを発表することができる。
- ・式や表、グラフを見ながら、もとのデータの特徴について考えることができる。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 本時の流れを確認する。	・前時を振り返りながら確認する
2 「選手説明会」を開催する。 (発表者)・自分の選んだ選手の良さを説明する。 (聞き手)・説明を聞きながら質問を考える。 ・説明を聞いて、どの選手を選ぶか判断する。	・わかりにくいところは質問するように声をかける。 ・聞き手から出た質問を板書する。
3 本時の学習を振り返る。	・判断した観点に留意するように指導する。

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

2つの役割に分かれたことが有効であったか。